



1月保健だより

H31年1月25(金)

保育園夢未来東雲園

年明けから寒い日が続きます。寒さと同時に空気も感染して感染症の流行しやすい時期です。保育園でもインフルエンザに罹るお子様も見られ始めています。節分や発表会も控えていますので予防をしっかりと元気に過ごしましょう。

嘱託医の先生より～地域で流行している感染症～

○インフルエンザが流行し始めています

※登園には医師記入の「意見書」が必要です。(HPよりダウンロードできます。)

※登園の目安:発症した後5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過するまで。

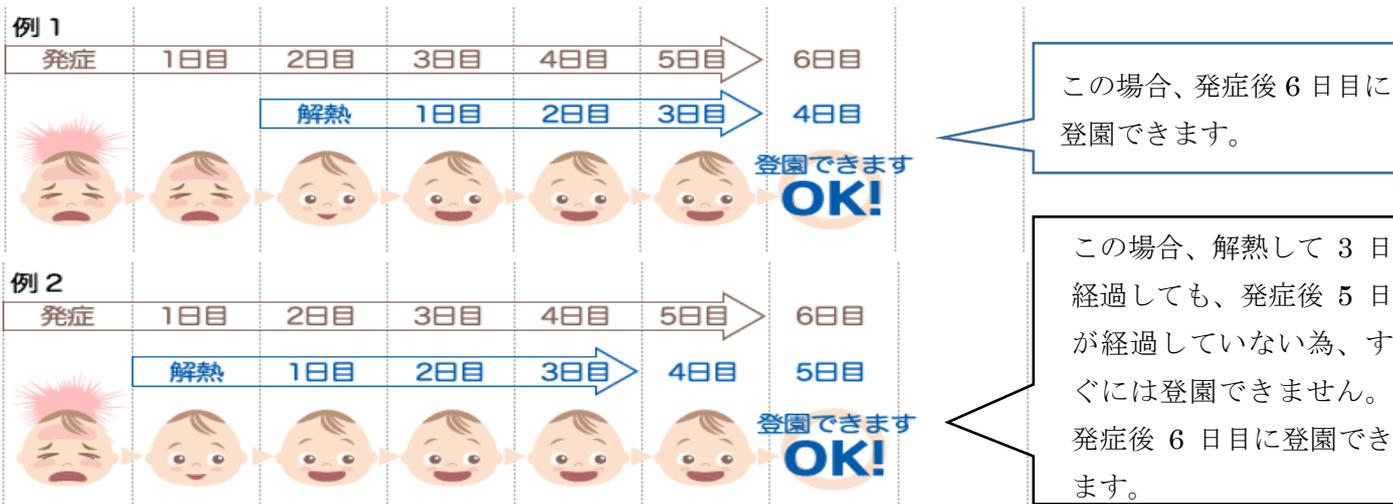
○胃腸炎やRSウイルスもこの時期流行しやすいです。

《2月8日(金)12:15～のずえ先生による全園児健康診断があります。》



©urazou

○インフルエンザ発症後の登園の目安



子どもの冬の肌の乾燥対策

○子どもの肌の特徴

空気が乾燥する冬は、お肌も乾燥する季節。特に子どもは、大人よりも皮膚が薄く荒れやすいです。また、空気の乾燥によって、水分が奪われやすくなります。日々のケアを心がけ、デリケートな肌を守ってあげたいですね。

○起こしやすいトラブル

肌が乾燥することで、アレルギー物質や細菌・ウイルスなどが、入りやすくなります。

そうすると少しの刺激でもかゆくなり、皮膚トラブルの原因となります。

○対策

室内の温度を温かくし湿度を保ち、お風呂はぬるめのお湯に入りましょう。また、体をゴシゴシ洗すぎないこともポイントになります。日々のケアを心がけ、保湿クリームを塗ってあげましょう。

肌荒れや皮膚トラブルが起こってしまったら、早めに受診したいですね。



☆やけどについて

この時期は暖房器具を使用したり、鍋を食べたり身近に高温のものが多くなります。

○応急処置

流水で20分～30分流水で冷やし、患部をガーゼで覆いましょう。



☆低温やけど

カイロや電気カーペットなどに長時間触れ、皮膚が赤くなっているときは、冷やしてから速やかに受診しましょう。

初期に適切な治療を受けると綺麗に治すことができます。応急処置をしたら必ず受診しましょう!